

平成 21 年度 事務事業事後評価調書 (平成 20 年度事業)

整理番号 3 - 3

1 事務事業の表示

※ ■ : 該当

事務事業名		車両運行業務民間委託事業				
評価者	担当課名	税財管理課		担当係名		管財係
	管理職	職名	課長		作成者	係長
		氏名	久保田和孝			氏名
事業の概要	効果的な財政削減及び車両の運行・輸送業務の円滑化を図るため、スクールバス4台、給食配送車2台、福祉バス1台、生涯学習バス1台の計8台を一括民間委託で行っている。				全体計画 / 単年度繰返 (平成 20 年度 ~ 24 年度) 事業費 国・道支出金 千円 地方債 千円 その他 千円 一般財源 132,100 千円 事業費計 132,100 千円	
実施方法	直営	■ 民間委託		その他 ()		
第5期総合計画(前期)		■ 登載事業		非登載事業	優先度	B
事業の位置付け	政策目標	5 ささえあい・雄武~協働によるまちづくりの推進				
	基本施策	24 効果的・効率的な行政経営				
	単位施策	3 地方分権型行政の推進				
	事務事業の種類	■ 自治事務		法定受託事務		
	その他計画・根拠等					
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(見込)	22年度(計画)	23年度(計画)	24年度(計画)
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円
	雄武町負担額(一般財源)	26,433 千円	26,460 千円	26,460 千円	26,460 千円	26,460 千円
	合計	26433 千円	26460 千円	26460 千円	26460 千円	26460 千円

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民(生徒・一般)	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)					
【抱える課題やニーズは】	10年以上の車両が3台あり、町負担の修繕経費の負担増となる恐れがある。	スクールバス等車両8台を民間委託					
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	柔軟な運行・輸送業務の円滑化を図る。	① スクールバス、給食配送車、福祉バス、生涯学習バスの8台を一括民間委託。	指標(指標計算式/解説)			目標年度	20年度
						目標値	8台
						実績値	8台
						達成度	100.0 %
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	利用用途により、柔軟な車両運行を図ることができる。	②				目標年度	
						目標値	
						実績値	
						達成度	%
内容(どのような手段で何を行ったか)							
業務委託	スクールバス4台・給食配送車2台・福祉バス1台・生涯学習バス1台の一括民間委託(長期契約平成18年4月1日から平成21年3月31日までの3年間)						
業務委託変更契約	スクールバス増便により184,350円を増額した。						
タイヤ購入等	冬用タイヤ12本、夏用タイヤ24本、給食配送車用バッテリー2個購入等						

3 事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要／概ね必要／ 課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	経費節減や柔軟な運行管理を行うためには、引き続き民間委託が必要である。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効／概ね有効／ 課題あり	設定した目標値の達成 状況	スクールバス4台・給食配送車2台・福祉バス1台・生涯学習バス1台の一括民間委託に伴い柔軟な運行管理等の適正化に有効であった。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的／概ね効率的／ 課題あり	判断の理由	人件費等経費の抑制を図る。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平 公平／概ね公平／ 公平でない	判断の理由	車両運行対象者すべてが恩恵を受けているため公平である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input type="checkbox"/> その他	

4 総合評価【A～D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
効率的な経費削減を図るためには、計画どおり事業を進めることが必要である。		

今後の展開方向

(Action)

継続／現状維持		
効果的な財政削減及び車両の運行・輸送業務の円滑化を図るためには、計画どおり事業を継続する必要がある。(平成24年3月31日まで長期継続契約を更新している。)		

*展開方向の区分

- 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 終了 休止 廃止

5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--

平成 21 年度 事務事業事後評価調書 (平成 20 年度事業)

整理番号 3 - 4

1 事務事業の表示

※ ■ : 該当

事務事業名	ホテル日の出岬施設整備事業					
評価者	担当課名		税財管理課	担当係名		管財係
	管理職	職名	課長	作成者	職名	係長
		氏名	久保田和孝		氏名	田中邦俊
事業の概要	運営・サービスの低下を招かないためにも、施設の現状維持を図るため、施設設備が塩害等により腐食が進み、故障の恐れがあるので、温泉ポンプ入替・特殊浴場ライナーリフト取替・浴室空調機取替や浴室設備等の補修を行う。				全体計画 / 単年度繰返 (平成 20 年度 ~ 24 年度) 事業費 国・道支出金 千円 地方債 千円 その他 千円 一般財源 40,100 千円 事業費計 40,100 千円	
実施方法	直営		民間委託	■ その他 (指定管理者)		
第5期総合計画(前期)		■ 登載事業		非登載事業	優先度	B
事業の位置付け	政策目標	1 はつらつ・雄武～地域産業の振興～				
	基本施策	5 観光の振興				
	単位施策	1 雄武観光の売り込み				
	事務事業の種類	■ 自治事務		法定受託事務		
	その他計画・根拠等					
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(見込)	22年度(計画)	23年度(計画)	24年度(計画)
	国・道支出金	千円	21,990 千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円
	雄武町負担額(一般財源)	11,550 千円	13,868 千円	5,700 千円	13,000 千円	3,000 千円
	合計	11550 千円	35858 千円	5700 千円	13000 千円	3000 千円

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	ホテル日の出岬利用者	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)				
【抱える課題やニーズは】	塩分濃度が高いので、施設設備等の腐食が進み経費が高む。	温泉施設の現状維持				
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	温泉施設整備の現状維持を保つ。	① 温水ボイラー取替工事、男子浴室空調機取替工事、露天風呂補修工事、温泉ポンプ入替工事	指標(指標計算式/解説)			目標年度 20年度
			目標値及び実績値			目標値 4 件
						実績値 4 件
						達成度 100.0 %
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	運営・サービスの低下を招かないためにも、施設整備の充実を図ることができる。	②	目標年度			
			目標値			
			実績値			
			達成度			%
内容(どのような手段で何を行ったか)						
温水ボイラー・男子浴室空調機取替工事	温水ボイラーは、老朽化が激しく、溶接等の修繕を行ったが補修も限界と判断し、温水ボイラー取替工事を行った。また、男子浴室空調機は、塩害等で腐食老朽化が著しく機能が果たせないことから、男子浴室空調機取替工事を行った。					
露天風呂補修工事	露天風呂の老朽化により床面等に亀裂が入り水漏れが発生することから、露天風呂補修工事を行った。					
温泉ポンプ入替工事	源泉の温泉ポンプが停止したことから、業務に支障となるので、温泉ポンプ入替工事を行った。					

3 事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要／概ね必要／課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	施設を維持するためにも、腐食した設備の改修工事や温泉ポンプ入替工事等を計画的に行わなければ営業ができなくなる恐れがある。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効／概ね有効／課題あり	設定した目標値の達成状況	既存の温泉施設の温水ボイラー・男子浴室空調機取替工事及び温泉ポンプ入替、露天風呂補修工事等により、施設維持をすることができた。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的／概ね効率的／課題あり	判断の理由	温泉施設維持のため、計画的に改修・取替工事を行うものなので、コスト削減は難しい。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平 公平／概ね公平／公平でない	判断の理由	全町民の利用対象としており、公平である。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input type="checkbox"/> その他	

4 総合評価【A～D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
滞在型観光開発施設の運営・サービスの現状維持を保つためには、計画どおり事業を進めることが妥当と判断する。		

今後の展開方向
(Action)

継続／現状維持		
温泉施設を運営するのに設備の現状維持を保つためには、計画どおり事業を行う必要があるため、現状維持が妥当である。		

*展開方向の区分

- 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 終了 休止 廃止

5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--

平成 21 年度 事務事業事後評価調書 (平成 20 年度事業)

整理番号 3 - 5

1 事務事業の表示

※ ■ : 該当

事務事業名	公用車更新事業					
評価者	担当課名	税財管理課		担当係名	管財係	
	管理職	職名	課長	作成者	係長	
		氏名	久保田和孝		氏名	田中邦俊
事業の概要	10年以上使用の公用車を対象とし、計画的に環境にやさしい公用車を更新する。 平成23年度には、平成8年度取得の公用車1台を更新予定。				全体計画 / 単年度繰返 (平成 20 年度 ~ 23 年度) 事業費 国・道支出金 千円 地方債 千円 その他 千円 一般財源 4,000 千円 事業費計 4,000 千円	
実施方法	■ 直営		民間委託	その他 ()		
第5期総合計画(前期)		■ 登載事業		非登載事業	優先度	B
事業の位置付け	政策目標	5 ささえあい・雄武~協働によるまちづくりの推進				
	基本施策	24 効果的・効率的な行政経営				
	単位施策	1 計画行政の推進				
	事務事業の種類	■ 自治事務		法定受託事務		
	その他計画・根拠等					
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(見込)	22年度(計画)	23年度(計画)	24年度(計画)
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円
	雄武町負担額(一般財源)	1,720 千円	千円	千円	2,000 千円	千円
	合計	1720 千円	千円	千円	2000 千円	千円

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	職員公用車	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)			
【抱える課題やニーズは】	公用車の老朽化により修繕費及び燃料費の増となる。	修繕費・燃料費等の削減を図るためライトバン1台を更新した。			
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	10年以上使用の公用車を対象に計画的に更新する。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値		
		① プロボックスバン1台	目標年度	20年度	
			目標値	1台	
			実績値	1台	
		達成度	100.0 %		
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	公用車の修繕費及び燃料費の削減。	②	目標年度		
			目標値		
			実績値		
			達成度	%	
内容(どのような手段で何を行ったか)					
公用車購入	公用車両としてプロボックスバン1台購入				

3 事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要／概ね必要／ 課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	13年以上経過している車なので、故障等のトラブルがあることから、 公用車を更新する必要があった。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効／概ね有効／ 課題あり	設定した目標値の達成 状況	出張等の用務のときに故障等のトラブルがなく、燃費も良くなり、 安心して公用車を運転することができる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的／概ね効率的／ 課題あり	判断の理由	13年以上経過している車種なので、修繕費や燃料費のコストが高 んだが、新車更新により、燃費等のコストを下けている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平 公平／概ね公平／ 公平でない	判断の理由	経費削減による財源の有効活用のため公平である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input type="checkbox"/> その他	

4 総合評価【A～D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A	A	
修繕費、燃料費の削減を図ることができた。		

今後の展開方向

(Action)

継続／現状維持	継続／現状維持	
10年以上経過した公用車は、用途に合わせて 環境対応車種に更新するため、当分は現状維 持が必要である。	環境対応車の購入に際して、国 の補助制度の活用について要検 討。	

*展開方向の区分

○ 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 ○ 終了 ○ 休止 ○ 廃止

5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--

平成 21 年度 事務事業事後評価調書 (平成 20 年度事業)

整理番号 3 - 6

1 事務事業の表示

※ ■ : 該当

事務事業名		庁舎ガラス清掃・床ワックス掛け業務事業					
評価者	担当課名	税財管理課		担当係名	管財係		
	管理職	職名	課長		職名	係長	
		氏名	久保田和孝		作成者	氏名	田中邦俊
事業の概要	庁舎ガラス・サッシ及び床面の汚れが目立つようになったことから、ガラス・サッシ及び床面のワックス掛けの清掃委託を行う。				全体計画 (平成 年度～ 年度) 事業費 国・道支出金 千円 地方債 千円 その他 千円 一般財源 千円 事業費計 千円		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直営	<input checked="" type="checkbox"/> 民間委託		<input type="checkbox"/> その他 ()			
第 5 期 総合計画 (前期)		登録事業	<input checked="" type="checkbox"/> 非登録事業		優先度		
事業の位置付け	政策目標	5 ささえあい・雄武～協働によるまちづくりの推進					
	基本施策	24 効果的・効率的な行政経営					
	単位施策	3 地方分権型行政の推進					
	事務事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務		<input type="checkbox"/> 法定受託事務			
	その他計画・根拠等						
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(見込)	22年度(計画)	23年度(計画)	24年度(計画)	
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円	
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円	
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円	
	雄武町負担額 (一般財源)	366 千円	千円	千円	千円	千円	
	合計	366 千円	千円	千円	千円	千円	

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	庁舎	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)			
【抱える課題やニーズは】	施設の耐久維持を図るための床ワックス掛け、ガラス清掃を行わないと施設を損なう恐れがある。	庁舎の維持管理・美観を保つ。			
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	施設の耐久性(タイル等)、美観を保つために、定期的に床面ワックス掛けや窓ガラス清掃を行う。	① 庁舎ガラス清掃・床面ワックス掛け業務委託	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
			目標年度	20年度	
			目標値	1 式	
			実績値	1 式	
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	施設の耐久性(タイル等)、美観を保つことができる。	②	達成度	100.0 %	
			目標年度		
			目標値		
			実績値		
内容(どのような手段で何を行ったか)					
庁舎ガラス清掃・床面ワックス掛け	庁舎の窓ガラス清掃及び床面(タイル・ジュウタン等)の清掃を委託で行った。				

3 事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要／概ね必要／ 課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	庁舎内施設(床面タイル等)のワックス掛け窓ガラス清掃により耐久性及び美観を保つ必要がある。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効／概ね有効／ 課題あり	設定した目標値の達成 状況	庁舎の窓ガラス清掃・床面ワックス掛けを行うことにより維持管理及び美観を保つことができる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的／概ね効率的／ 課題あり	判断の理由	庁舎の窓ガラス清掃・床面ワックス掛けを行うことにより床面タイル等の施設維持等を図ることができた。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平 公平／概ね公平／ 公平でない	判断の理由	庁舎床面タイル等の維持を図ることにより、来庁利用者等に不快感を与えないため、公平である。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input type="checkbox"/> その他	

4 総合評価【A～D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A	A	
庁舎の維持管理(床面タイル等)を保つことができた。		

今後の展開方向

(Action)

継続／現状維持	継続／現状維持	
庁舎の床面タイル等の維持管理を保つためには、今後も継続が必要である。		

*展開方向の区分

- 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 ○ 終了 ○ 休止 ○ 廃止

5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--

平成 21 年度 事務事業事後評価調書 (平成 20 年度事業)

整理番号 3-7

1 事務事業の表示

※ ■ : 該当

事務事業名	町営住宅街灯塗装工事業					
評価者	担当課名		税財管理課	担当係名		管財係
	管理職	職名	課長	作成者	職名	係長
		氏名	久保田和孝		氏名	田中邦俊
事業の概要	町営住宅街灯の支柱14本が錆びていることから、腐食が進まないためにも塗装を行う。(宮下団地6本、末広一区団地3本、潮見団地1本、魚田団地1本、末広二区団地2本、幸海団地1本)				全体計画 (平成 年度～ 年度) 事業費 国・道支出金 千円 地方債 千円 その他 千円 一般財源 千円 事業費計 千円	
実施方法	■ 直営		民間委託	その他 ()		
第5期総合計画(前期)		登録事業	■ 非登録事業	優先度		
事業の位置付け	政策目標	4 うるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～				
	基本施策	18 住環境の整備				
	単位施策	2 良好な住生活の確保				
	事務事業の種類	■ 自治事務		法定受託事務		
	その他計画・根拠等					
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(見込)	22年度(計画)	23年度(計画)	24年度(計画)
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円
	雄武町負担額(一般財源)	270千円	千円	千円	千円	千円
	合計	270千円	千円	千円	千円	千円

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町営住宅街路灯	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)
【抱える課題やニーズは】	街路灯が塩害等で腐食が進み支柱が折れる恐れがある。	町営住宅街灯で腐食が進んでいる14箇所を塗装する。
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	街路灯の塗装工事を行うことにより、腐食を抑える。	指標(指標計算式/解説)
		目標年度
		目標値
		実績値
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	街路灯の塗装工事により、腐食を抑えることにより、街灯の耐用年数が長くなる。	① 町営住宅街灯14本の塗装工事
		目標年度
		目標値
		実績値
内容(どのような手段で何を行ったか)		
町営住宅街灯塗装工事	町営住宅街灯で腐食が進んでいる14箇所の塗装工事をした。	達成度
		100.0 %
		%

3 事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要／概ね必要／ 課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	町営住宅の街灯が錆びにより腐食が進み、そのまま放置すると、支柱が倒壊する恐れがある。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効／概ね有効／ 課題あり	設定した目標値の達成 状況	町営住宅の街灯で腐食が進んでいる14箇所を塗装工事をしたことにより、腐食を抑えることができた。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的／概ね効率的／ 課題あり	判断の理由	街灯の塗装工事を行ったことにより、腐食を抑えることができ、耐用年数が長くなることで経費の削減にもなる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	

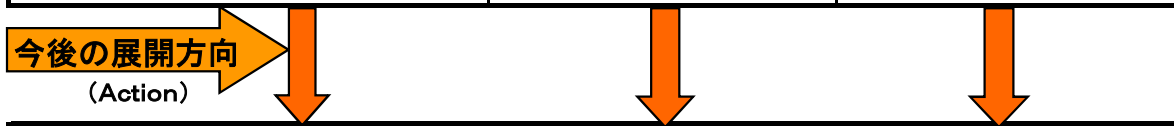
(4)事務事業の公平性

公平 公平／概ね公平／ 公平でない	判断の理由	他の町有設置街灯も補修をするため公平である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input type="checkbox"/> その他	

4 総合評価【A～D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A	A	
腐食が進んでいる街灯14箇所を塗装したことにより、腐食を抑えることができ、街灯の耐用年数も長くなる。		



終了	終了	
	市街地区街灯塗装については、別途事業化とする。	

*展開方向の区分

- 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 ○ 終了 ○ 休止 ○ 廃止

5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--

平成 21 年度 事務事業事後評価調書 (平成 20 年度事業)

整理番号 3 - 8

1 事務事業の表示

※ ■ : 該当

事務事業名	町営住宅管理システム基本パッケージ等購入					
評価者	担当課名	税財管理課		担当係名	管財係	
	管理職	職名	課長	作成者	職名	係長
		氏名	久保田和孝		氏名	田中邦俊
事業の概要	平成21年度の家賃改正及び建替事業等に伴う家賃の激変緩和措置等が発生することにより、現在のソフトでは対応することが困難なことから、新規に町営住宅管理システムを導入した。			全体計画 (平成 年度～ 年度)		
				事業費	千円	
				国・道支出金	千円	
				地方債	千円	
				その他	千円	
				一般財源	千円	
				事業費計	千円	
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営	<input type="checkbox"/> 民間委託	<input type="checkbox"/> その他 ()			
第5期総合計画(前期)	登録事業	<input checked="" type="checkbox"/> 非登録事業	優先度			
事業の位置付け	政策目標	5	ささえあい・雄武～協働によるまちづくりの推進			
	基本施策	24	効果的・効率的な行政経営			
	単位施策	3	地方分権型行政の推進			
	事務事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	<input type="checkbox"/> 法定受託事務			
	その他計画・根拠等					
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(見込)	22年度(計画)	23年度(計画)	24年度(計画)
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円
	雄武町負担額 (一般財源)	1,943 千円	千円	千円	千円	千円
	合計	1943 千円	千円	千円	千円	千円

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町営住宅入居者	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)		
【抱える課題やニーズは】	現行の管理システムでは家賃改正が生じた場合に対応不可。	町営住宅管理システム基本パッケージ一式購入		
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	的確な家賃算定等が可能となる。	指標(指標計算式/解説)	目標年度	20年度
		① 町営住宅管理システム基本パッケージ等購入	目標値	1 式
			実績値	1 式
			達成度	100.0 %
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	町営住宅管理システムを進めたことにより入居者管理事務の効率化を図る。	②	目標年度	
			目標値	
			実績値	
			達成度	%
内 容(どのような手段で何を行ったか)				
町営住宅管理システム基本パッケージ等購入	町営住宅管理システム基本パッケージを購入することにより21年度の家賃改定・建替事業等に伴う家賃の激変緩和措置の対応をする。			

3 事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要／概ね必要／ 課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	町営住宅入居者の家賃算定、台帳管理、入退去処理等の事務の簡素化を図る上で必要である。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効／概ね有効／ 課題あり	設定した目標値の達成状況	町営住宅管理システム導入により家賃算定、収納処理等が短縮されている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的／概ね効率的／ 課題あり	判断の理由	町営住宅管理システム導入により家賃算定、収納処理等の時間短縮を図られている。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input checked="" type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	




(4)事務事業の公平性

公平 公平／概ね公平／ 公平でない	判断の理由	町営住宅入居者全員がサービス享受対象となるため公平である。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input type="checkbox"/> その他	

4 総合評価【A～D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A	A	
町営住宅家賃算定・収納処理・台帳管理等の事務が簡素化される。		

今後の展開方向 (Action)			
	終了	終了	

*展開方向の区分

- 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 ○ 終了 ○ 休止 ○ 廃止

5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--

平成 21 年度 事務事業事後評価調書 (平成 20 年度事業)

整理番号 3 - 9

1 事務事業の表示

※ ■ : 該当

事務事業名		町営住宅緑町団地建替事業移転料				
評価者	担当課名	税財管理課		担当係名		管財係
	管理職	職名	課長		作成者	係長
		氏名	久保田和孝			氏名
事業の概要	町営住宅緑町団地を解体することにより、住宅の明渡しに伴い、他住宅に入居。または仮入居者への移転料の補償を行う。				全体計画 (平成 年度～ 年度) 事業費 国・道支出金 千円 地方債 千円 その他 千円 一般財源 千円 事業費計 千円	
実施方法	■ 直営		民間委託	その他 ()		
第5期総合計画(前期)		登録事業	■ 非登録事業	優先度		
事業の位置付け	政策目標	4 うるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～				
	基本施策	18 住環境の整備				
	単位施策	1 良好な住宅・宅地の供給				
	事務事業の種類	■ 自治事務		法定受託事務		
	その他計画・根拠等					
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(見込)	22年度(計画)	23年度(計画)	24年度(計画)
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円
	雄武町負担額(一般財源)	141 千円	千円	千円	千円	千円
	合計	141 千円	千円	千円	千円	千円

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	緑町団地明け渡し入居者	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)				
【抱える課題やニーズは】	他住宅への入居替	明渡し入居者3名				
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	明渡し・仮住いが支障なく運ぶこと。	① 明渡し入居者3名	指標(指標計算式/解説)			目標年度 20年度～22年度
						目標値 3名
						実績値 3名
						達成度 100.0 %
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	住宅の明渡し、仮住いが円満に運んだ。	②	指標(指標計算式/解説)			目標年度
						目標値
						実績値
						達成度 %
内容(どのような手段で何を行ったか)						
明渡し移転料の補償	移転する場合は、移転補償する。					

3 事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要／概ね必要／ 課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	緑町団地建替事業を円滑に進めるため、明渡し移転補償をしなければならぬ。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効／概ね有効／ 課題あり	設定した目標値の達成 状況	年度内の明渡し入居者3名全員が移転した。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的／概ね効率的／ 課題あり	判断の理由	移転補償に伴いスムーズな建替事業となる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平 公平／概ね公平／ 公平でない	判断の理由	町の町営住宅政策建替に起因する入居替及び一時退去であり、移転対象入居者全員がサービス享受対象となるため公平である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input type="checkbox"/> その他	

4 総合評価【A～D】

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B: ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A	A	
明渡し入居者が円満に入居替を達成することができた。		

今後の展開方向
(Action)

継続／現状維持	継続／現状維持	
22年度までに状況によっては、入居替を行う必要があるため、継続が必要である。		

* 展開方向の区分

- 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 ○ 終了 ○ 休止 ○ 廃止

5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--